

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2009-500190(P2009-500190A)

【公表日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-519080(P2008-519080)

【国際特許分類】

B 44 F 1/02 (2006.01)

B 44 C 1/24 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

【F I】

B 44 F	1/02	
B 44 C	1/24	B
B 32 B	27/00	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

器具に、飾り、絵、図形又はテキストのような装飾を備えるための方法であって、前記器具は、柔軟なスタンプの配置により光学干渉格子を生成するためにエンボスされた層を形成する第1のゾルゲル前駆物質を備え、
前記層が硬化される

方法において、

前記干渉格子は、ゾルゲル層の屈折率よりも高い屈折率を持つ物質から成る第2のゾルゲル前駆物質を備え、

前記第2の前駆物質が硬化されて高い屈折率の格子を形成することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記高い屈折率の格子が、透明な非散乱性の上塗りを備える、
請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1のゾルゲル前駆物質は、前記干渉格子が屈折させるように設計された波長範囲における光を吸収する化合物を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1のゾルゲル前駆物質は、オルガノシラン化合物を有する混成ゾルゲル前駆物質である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記オルガノシラン化合物は、メチルトリメトキシシラン又はメチルトリエトキシシランを有する、請求項3又は4に記載の方法。

【請求項6】

前記第1のゾルゲル前駆物質はメタクリロキシプロピルトリメトキシシランを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記第2のゾルゲル前駆物質はオルトチタン酸テトラアルキルを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記上塗りは、シリカ及びPTE懸濁液で満たされたオルガノシラン化合物を有する、請求項2乃至7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

装飾を有するアイロンであつて、前記装飾は請求項1に記載の方法によって得られるアイロン。